

KANEKA Microbial DNA Extraction Reagent

取扱説明書

注意

- 本品は研究用です。ヒト、動物への医療、臨床診断用途に使用しないでください。また、食品、化粧品、家庭用品などとしても使用しないでください。
- 本品はアルカリ性の試薬を使用しております。本品の使用、廃棄にあたっては、保護具（保護手袋、保護メガネなど）を着用するなど、実験室での一般の注意事項を厳守したうえで、安全に留意して行ってください。
- 誤って眼に入った場合や皮膚に付着した場合は、よく水洗いするなど応急処置を行い、必要があれば医師の手当などを受けてください。

1. 特長

本品は、微生物から PCR やリアルタイム PCR などの核酸増幅法に利用可能な鋳型 DNA を約 10 分で抽出するためのキットです。

内容物 (20 テスト分)		
Solution A	400 μ L	1 本
Solution B	800 μ L	2 本

2. 保存方法 / 使用期限

- 保存方法 直射日光を避け 2°C~30°C で保存してください。
- 使用期限 本品外袋に記載しております。

3. 使用方法

【適用可能な検体】

液体培地で培養した培養液または固形培地に生育したコロニー

- ・ McFarland No.0.5~1 相当の培養液。
- ・ コロニーを滅菌蒸留水にて McFarland No.0.5~1 相当となるよう調製した菌懸濁液。

<液体培地の場合>

- ① McFarland No. 0.5~1 相当の培養液 20 μ L をマイクロチューブに移し、Solution A 20 μ L と混合後、ヒートブロック等にて 98°C、10 分間加熱する^{※1}。
- ② 室温まで冷却後、Solution B 80 μ L を添加、混合したものを DNA 抽出液とする。

※1. 加熱中にマイクロチューブの蓋が開くことがあるため、キャップロック等の使用をおすすめします。

<コロニーの場合>

- ① McFarland No. 0.5~1 相当となるように、コロニーを白金耳でピックアップしてから滅菌蒸留水（500 μ L 程度）に懸濁する^{※2}。
- ② 菌懸濁液 20 μ L をマイクロチューブに移し、Solution A 20 μ L と混合後、ヒートブロック等にて 98 $^{\circ}$ C、10 分間加熱する。
- ③ 室温まで冷却後、Solution B 80 μ L を添加、混合したものを DNA 抽出液とする。

※2. コロニーを採取する際、固形培地を一緒に掻き取らないように注意してください。

使用上の注意

1. 本品はアルカリ性の試薬を使用しております。本品の使用、廃棄にあたっては、保護具（保護手袋、保護メガネなど）を着用し、実施施設での一般の注意事項を厳守したうえで、安全に留意して行ってください。誤って眼に入った場合や皮膚に付着した場合は、よく水洗いするなど応急処置を行い、必要があれば医師の手当を受けてください。
2. 上記プロトコルにて適切に DNA が抽出されない場合、検体量を変更することで改善されることがあります。
3. 抽出液をすぐに使用しない場合は-20 $^{\circ}$ Cにて保存してください。

保証

弊社の責任の範囲は、本品自体に不具合があった場合の代替品への交換のみに限られ、直接・間接を問わずその他一切の損害について弊社はその責に任じません。あらかじめご了承ください。

廃棄方法

本品の取扱いの際は必ず保護具（保護手袋や保護メガネなど）を着用してください。

- 残余廃棄物：少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。
- 汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

お問合せ先

株式会社カネカ お問い合わせ窓口

TEL 079-445-2406（お問い合わせ受付時間：平日 9:00~17:00）

URL <https://www.kaneka-labtest.com>